

枚数

六一

現代の国語
言語文化

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

羅生門

X

ある日の暮れ方のことである。一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。

広い門の下には、この男の外に誰もいない。ただ、ところどころ丹塗りの剥けた、大きな円柱に、きりぎりすが一匹止まっている。羅生門が、朱雀大路にある以上は、この男の外にも、雨やみをする市女笠や採烏帽子が、もう二、三人はありそうなものである。それが、この男の外には誰もいない。

なぜかという、この二、三年、京都には、地震とか辻風とか火事とか飢饉とかいう災いが続いて起こった。そこで洛中のさびれ方はひととおりではない。旧記によると、仏像や仏具を打ち砕いて、その丹がついたり、金銀の箔がついたりした木を、道端に積み重ねて、薪の料に売っていたということである。洛中がその始末であるから、羅生門の修理などは、誰も捨てて顧みる者がなかった。するとその荒れ果てたのをよいことにして、狐狸が棲む。盗人が棲む。しまいは、引き取り手のない死人を、この門へ持ってきて、捨てていくという習慣さえできた。そこで、日の目が見えなくなると、誰でも気味を悪がって、この門の近所へは足踏みをしないう事になってしまったのである。

② そのかわりまたからすがどこからか、たくさん集まってきた。昼間見ると、そのからすが、何羽となく輪を描いて、高い鵝尾の周りを鳴きながら、飛び回っている。c 門の上の空が、夕焼けで赤くなる時には、それがごまをまいたように、はつきり見えた。からすは、もちろん、門の上にある死人の肉を、ついでに來るのである。——もつとも今日は、刻限が遅いせいか、一羽も見えない。ただ、ところどころ、崩れかかった、そうしてその崩れ目に長い草の生えた石段の上に、からすのくそが、点々と白くこびりついているのが見える。下人は七段ある石段のいちばん上の段に洗ざらした紺の襦の尻を据えて、右の頬にできた、大きなきびを気にしながら、ぼんやり、雨の降るのを眺めていた。

④ 作者はさつき、「下人が雨やみを待っていた。」と書いた。d、



平安京略図

の下人のSentimentalismに影響した。申の刻下がりから降りだした雨は、いまだに上がる気色がない。そこで、下人は、何をおいてもさしあたり明日の暮らしをどうにかしようとして——いわばどうにもならないことを、どうにかしようとして、とりとめもない考えをたどりながら、さつきから朱雀大路に降る雨の音を、聞くともなく聞いていたのである。

二〇二六(令和八)年度 沖縄女子短期大学 一般選抜(A日程)(問題用紙)

枚数	六二二	現代の国語 言語文化	答えはすべて解答用紙に書きなさい。
----	-----	---------------	-------------------

第一問

問1

〔X〕に入る「羅生門」の作者名を次の

1～4の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 夏目漱石
- 2 芥川龍之介
- 3 森鷗外
- 4 太宰治

問2

傍線部⑦～⑩の漢字の読みがなを書きなさい。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ⑦ 剥げた | ① 砕いて | ⑦ 顧みる |
| ⑧ 崩れ | ② 眺める | ⑧ 衰微 |

問3

〔 〕のa～dを補うものに最もあてはまる

語句を次の1～6の中からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。

- | | |
|--------|--------|
| 1 もとより | 2 とうとう |
| 3 そこで | 4 それが |
| 5 ことに | 6 しかし |

問4

傍線部①～②について次の(1)～(2)の問いに

答えなさい。

(1) 傍線部①「一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた」とあるが、下人の状況として正しいものを次のア～エの中から選びなさい。

- ア 仕事を終え帰る途中、雨がふり足止めされている。
- イ 今後の身のふり方を憂い、途方に暮れている。
- ウ 盗みを犯すために、羅生門で獲物を待ち構えている。
- エ 飢え死にする決心を羅生門で固めようとしている。

問5

下人の年齢が読み取れる語句を文中から抜き出し、5～10文字で書きなさい。

- ア 賑やかな様子
- イ 自然の雄大さ
- ウ 感動する様子
- エ 薄気味の悪さ

問6

傍線部③「どうにもならないこと」が指す内容を本文より抜き出して6文字で答えなさい。

(2) 傍線部②「そのかわりまたからすがどこからか、たくさん集ってきた」とあるが、描写から読み取れる様子を次のア～エから選びなさい。

枚数	六―三	現代の国語 言語文化	答えはすべて解答用紙に書きなさい。
----	-----	---------------	-------------------

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「見える文化」／「見えない文化」

原沢伊都夫

日本文化にはいろいろありますが、何でもいいですから、あなたの頭の中に日本文化を三つ、思い浮かべてください。

著作権承諾上の理由により、問題文の掲載はしていません。

二〇二六(令和八)年度 沖縄女子短期大学 一般選抜(A日程)(問題用紙)

枚数	六―四
現代の国語 言語文化	
答えはすべて解答用紙に書きなさい。	

第二問

問1

傍線部⑦～⑩の漢字の読みがなを書きなさい。

- ⑦ 漂う ⑧ 認識 ⑨ 伝統的
⑪ 贈呈 ⑫ 拒否 ⑬ 端

問5

傍線部②の「表裏一体」とはどのような意味ですか。
次の1～5の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 複数のものがそれぞれ真逆の性質を持っていること

問2

文章中の[A]～[E]にあてはまる語句を、
次の1～5の中から一つ選び、番号で答えなさい。
(重複選択不可)

- 1 このように 2 おそらく
3 例えば 4 つまり
5 もし

- 2 相反する性質をもった二つが、根本的には一つで切り離せない関係

- 3 違ったように見えるものが、実質的な差がほとんどない関係

- 4 人間関係や性格など、二面性を持っている状態

問3

傍線部④～⑥の語句を漢字で書きなさい。

- ④ センサイ ⑤ ソンザイ
⑥ ソウゾウ ⑦ カクトウギ
⑧ ドヒョウ ⑨ ヒハン

問6

本文では、日本文化について筆者の考えが述べられています。傍線部③～⑥はそれぞれ「見える文化」「見えない文化」のどちらに当てはまるかを判断し、記号で書きなさい。

問4

傍線部①の「あうん」とはどのような意味ですか。
次の1～5の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 気持ちが整い、心が落ち着く様子
2 心があればれせず、息が詰まるような気持ち
3 相手の気持ちを理解し受け入れようとする事
4 危険や悪いことが起こる心配
5 気持ちが一致する絶妙なタイミング

- 5 もともと一つだったものが分かれ、分離している関係

枚数
六一五
現代の国語 言語文化

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

第三問 次の【資料】(文章、表、図)は、食品ロス削減について述べた資料です。これらを読んで後の問い(問1～3)に答えなさい。

【資料】

文章 食品ロス—工夫次第で削減の余地はある—

まだ食べられる食品が廃棄される「食品ロス」の削減は、食料自給率が低い日本社会の大きな課題である。削減に向け、国や企業は知恵を絞らなければならない。政府は食品ロスの新たな削減目標を公表した。^①2000年度に547万トンだった食品製造業や外食産業などの事業系ロスを、2030年度までに6割減らすという。

当初は半減を目指していたが、2022年度には236万トンと目標を前倒して達成した。^②そのため、さらに1割厳しい目標が設定された。食品業界には、製造から賞味期限までの期間の3分の1を過ぎると小売店に納品できないという慣行がある。この慣行を見直し、加工食品の賞味期限を延長したことなどが功を奏したと考えられる。今後はA1(人工知能)を使った需要予測なども活用し、供給の適正化にも努める必要がある。

それでもなお、^③食品製造業のロスは年間117万トン、外食産業は60万トンにも上っている。削減の努力を怠ってはならない。新たな目標達成には、さらに17万トンの削減が必要になるが、X。

食品製造事業者などから規格外の商品が無償で譲り受け、福祉施設などに提供する「フードバンク」の活用も一案である。政府は、食品の安全管理などフードバンクの質を担保するための認証制度作りを進めている。事業者側に根強い「どこに寄付すれば良いかわからない」という声や、食中毒などの事故に対応できる体制を整え、食品の寄付を促していくことが重要だ。

家庭の事情や物価の高騰で、食事を十分に取れない子供は少なくない。^④無料か低額で食事を提供する「子ども食堂」は、全国で1万か所を超えた。だが、食品の寄付は年間1万トン程度で、支援物資の不足に悩む運営団体も多い。事業者などからの大口寄付が増えれば、ロスの削減と生活困窮者の支援が両立できる。学校給食での活用などについても制度化を検討してはどうか。

外食産業のロスを減らすには、消費者が食べ残さないことももちろん、店側は「小盛り」などの注文に柔軟に対応すべきだ。^⑤一方、家庭での食品ロスは2022年度に236万トンとなっている。豆腐や納豆など安価な食品を買いすぎたり、家庭内で料理を作りすぎたりして余って捨てるケースが多い。一人ひとりが「買いすぎない」「作りすぎない」という意識を持つことが大切だ。

表1 事業系食品ロスの削減目標 (2000年度→2030年度)

年度	事業系食品ロス量 (万トン)	削減率 (2000年比)
2000年度	547	—
2022年度	236	約57%減 (目標達成)
2023年度目標	219	約60%減 (算目標)

※出典：環境省・消費者庁資料より (農林水産省及び環境省統計)
https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_education_cms201_250627_01.pdf

表2 家庭系食品ロス量の推移 (2019年度→2023年度)

年度	家庭系食品ロス量 (万トン)
2019年度	261
2020年度	247
2021年度	244
2022年度	236
2023年度	233

※出典：環境省・消費者庁資料より (農林水産省及び環境省統計)
https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_education_cms201_250627_01.pdf

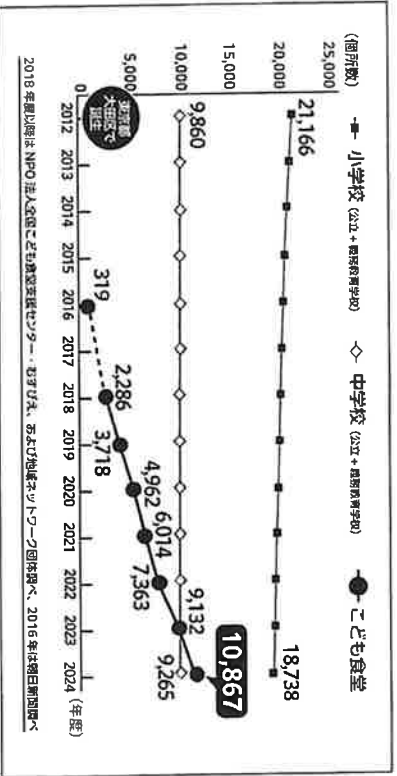


図1 子ども食堂の箇所数と、全国の小学校・中学校の推移 (2024年確定値)

二〇二六(令和八)年度 沖縄女子短期大学 一般選抜(A日程)(問題用紙)

枚数	六―六	現代の国語 言語文化	答えはすべて解答用紙に書きなさい。
----	-----	---------------	-------------------

第三問

問1 【資料】の文章の下線部①～⑤の内容には、図や表では省略されているものが二つあります。その二つを書きなさい。

問2 【資料】の X に入る最もふさわしい文を次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① できるとは到底思えない
- ② 無理な目標になっているようだ
- ③ 成果をあげたことを評価したい
- ④ できることはまだあるはずだ
- ⑤ できるだけことはやってきた

問3 次のア～オの各文は、【資料】を根拠としてまとめたものです。【凡例】に基づいて各文の内容の正誤を判断したとき、その組み合わせとして最も適当なものを後の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

【凡例】

正しい	・ ・ ・ 述べられている内容は、正しい。
誤っている	・ ・ ・ 述べられている内容は、誤っている。
判断できない	・ ・ ・ 述べられている内容の正誤について、【資料】から判断できない。

- ア 「事業系食品ロス」の削減については、政府の目指していた目標を2022年度には達成できなかった。
- イ 「事業系食品ロス」の削減については、政府の目指していた目標を2022年度には達成できた。
- ウ 「事業系食品ロス」の方が、「家庭での食品ロス」よりも多い。
- エ 家庭での食品ロスは2022年度は236万トンで前年度より減っている。
- オ 2024年度の「子ども食堂の箇所数」と「全国の公立中学校数」を比較すると「公立中学校数」の方が多い。

- ① ア 誤っている
イ 正しい
ウ 誤っている
エ 判断できない
オ 正しい
- ② ア 誤っている
イ 正しい
ウ 判断できない
エ 正しい
オ 誤っている
- ③ ア 判断できない
イ 誤っている
ウ 判断できない
エ 正しい
オ 誤っている
- ④ ア 誤っている
イ 正しい
ウ 誤っている
エ 判断できない
オ 誤っている
- ⑤ ア 判断できない
イ 正しい
ウ 誤っている
エ 判断できない
オ 誤っている

評 点 ※	
現代の国語 言語文化	
受験番号	
氏 名	学科
第一志望 学科コース	コース

総合ビジネス学科は氏名と学科名のみ記入

第一問

問 1
2

問 2	
㊦	㊧
くず (れ)	は (げた)
㊨	㊩
なが (める)	くだ (いて)
㊫	㊬
すいび	かえり (みる)

問 3
a
1
b
2
c
5
d
6

問 4
(1)
イ
(2)
エ

問 5
大
き
な
に
き
び

問 6
明
日
の
暮
ら
し

第二問

問 1	
㊰	㊱
ぞうてい	ただよ (う)
㊲	㊳
きよひ	にんしき
㊴	㊵
たん	でんとうてき

問 2
A
4
B
2
C
5
D
3
E
1

問 3	
㊶	㊷
格闘技	繊細
㊸	㊹
土俵	存在
㊺	㊻
批判	想像

問 5
6

問 4
5

問 6	
㊼	見える文化
㊽ ㊾ ㊿	見えない文化

第三問

問 1
b
c

問 2
㊿

問 3
㊿